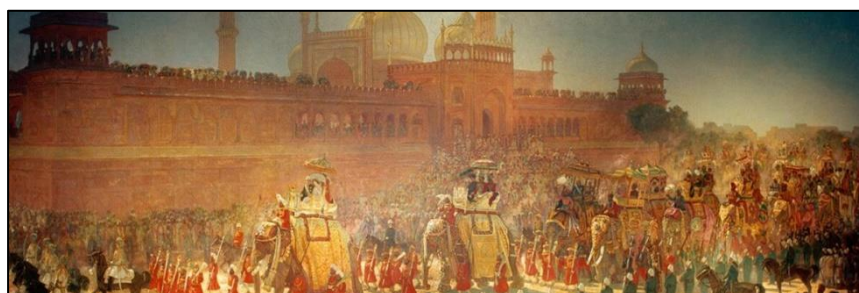




Research Source Series Area Studies: India インド研究コレクション



「リサーチ・ソース：インド研究コレクション」では、近世以降の藩王国時代からイギリス植民地（インド帝国）時代の様々な方面から収集・分析されたインドに関する資料を収録しています。

収録された資料は 1650 年から 1942 年に及びます。

近世・近代インドの政治・経済・社会・文化等を知るのに第一級の資料です。

【収録資料のハイライト】

- * 1905 年のベンガル分割を実施したインド総督カーゾンの書簡
- * インド大反乱に関する記録
- * パンジャブ総督エッジワースの日記
- * インド政府が編纂したインドの新聞記事の抄録集

【価格体系】

FTE により価格が異なります。

FTE は人文社会科学系学部の学生数(学部生+院生)より算出いたします。

価格は概算参考価格(税抜)です。

FTE <5,000 (Band 0)	FTE 5,001-15,000 (Band 1,2)	FTE 15,001< (Band 3)
お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい

- ◇ 完全買い切り・アクセスフィー無し ◇ バックアップHDD提供可能(有償) ◇ 同時アクセス無制限
- ◇ 無料トライアル 受付中！(機関・個人ともに 1 か月間)

注：原資料の状態により非常に読みにくい資料もございますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

(Adam Matthew, GBR/日本総代理店：丸善雄松堂)

2018 年リリース

- 表示価格は概算参考価格(税抜)です。概算参考価格にはライセンス料と手数料が含まれます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- 正式なお見積りも、別途ご用命ください。

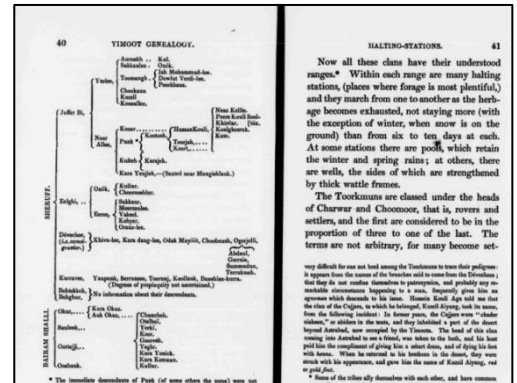
Research Source Series
Area Studies: India
【収録コレクション明細】

本データベースは、以下のマイクロフィルム版(合計 394 リール)をデジタル化し、一堂に検索、閲覧できるようにしたものです。
※マイクロ版の供給は、2017 年をもって終了となりました。

植民地インドを描いた作品コレクション

◆ **Colonial Discourses: Series Three:**
Colonial Fiction, 1712-1933, from British Library, London
Digitised from microfilm 84 reels.

1712 年から 1933 年までのインドにおける生活を描いた散文小説、詩、演劇、ノンフィクションのコレクション。
女性による作品も重点的に収録し、またイギリスとインドの両方の作家による 1857 年の大反乱に関する作品 300 点ちかくを収録します。



カーゾン公爵の資料集成

◆ **Curzon, India and Empire: The papers of Lord Curzon (1859-1925)**
from British Library, London
Digitised from microfilm 29 reels

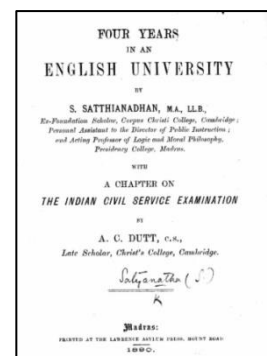
インド総督兼副王であったジョージ・N・カーゾン(1859-1925)がインドに赴任した 1899 年から 1905 年にかけてのインドに関する通信文を中心とする資料集です。19 世紀末から 20 世紀初頭にかけてのイギリスとインドの関係を知るための一級資料です。Oriental and India Office Collections (MS. EUR F111 & F112)



大英帝国時代のイギリスを訪れたインド人による記録

◆ **The Empire Writes Back Part One: Indian Views on Britain and Empire, 1810-1915, from British Library, London**
Digitised from microfilm 10 reels

1810 年から 1915 年の間にイギリス・フランス・アメリカを訪れたインド人達が主にインドで発行した紀行文や体験記です。インド人から見た 19 世紀のイギリスの実態を知ることができます。内容は医療、富裕層、貧困、労働者、教育、造船、モラルなど多岐にわたります。

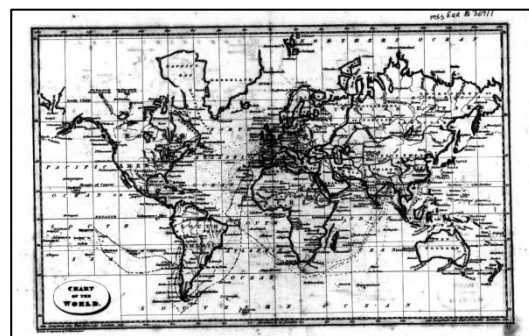


植民地時代のインドにおける日記や関連記録

◆ India During the Raj: Eyewitness Accounts: Diaries and related records describing life in India, 1712-1925, from British Library, London

Digitised from microfilm 74 reels

大英図書館が所蔵する 1712 年から 1925 年までのインドでの生活を記した 186 の日記と関連記録のコレクションです。歴史だけでなく、民衆やムガル帝国及びインド帝国の文化、社会などを広範囲かつ広い分野から知ることのできる資料となっています。



大英帝国時代のインドがわかる貴重な日誌

◆ India in the Age of Empire: The Journals of Michael Pakenham Edgeworth (1812-1881) from Bodleian Library, Oxford

Digitised from microfilm 11 reels

1828 年から 1867 年までのイギリスの植物学者 Michael P. Edgeworth の約 8,000 ページに及ぶ日記。彼は 1831 年から 1881 年までインドに赴任し、その間の旅行等で見分した地理、言語、習俗等を詳細に記録していました。長期間にわたる記録によって、イギリスの勢力がインドに次第に及んでいく過程を知ることができます。

※全文手稿資料です。

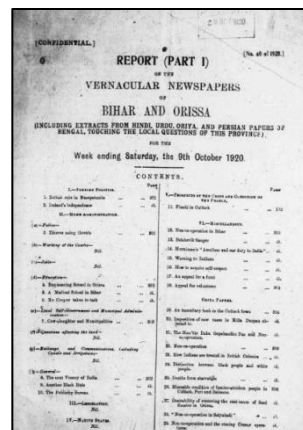


イギリス統治時代のインドの新聞記事のダイジェストを集成

◆ Indian Newspaper Reports, c.1868-1942, from British Library, London

Digitised from microfilm 186 reels

英語やベンガル語で記されたイギリス統治時代のインドの新聞記事の抜粋や要約をまとめたレポート。インド政府によって編纂され毎週発行されていました。地域はベンガル、パンジャブ、マドラス、ボンベイなどインド亜大陸の幅広い地域にまたがっており、当時のインドの統治・社会情勢を知るうえで不可欠な資料となります。



※ 各コレクションとも収録明細がございます。お申しつけください。



Research Source とは

Research Source (リサーチ・ソース)は、Adam Matthew 社の膨大なマイクロフィルムのバックタイトルをもとに、800 万ページ以上もの一次資料をセレクトし、デジタルにて提供するものです。

リサーチ・ソースは、ルネサンス期の文学から 20 世紀の世界政治まで、広範囲にわたり、学生、研究者にとって有用な資料を、11 のテーマ別モジュールに分けて提供します。

Research Source トップページ

各モジュールページ

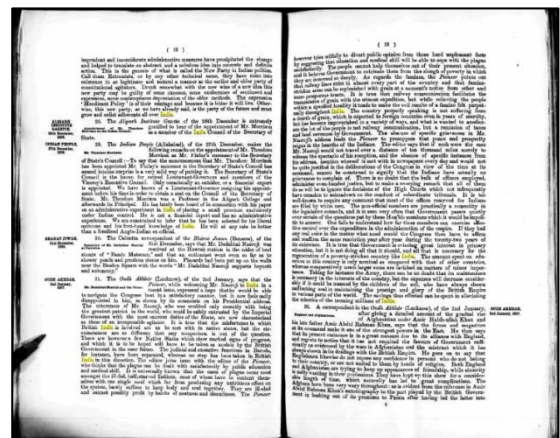
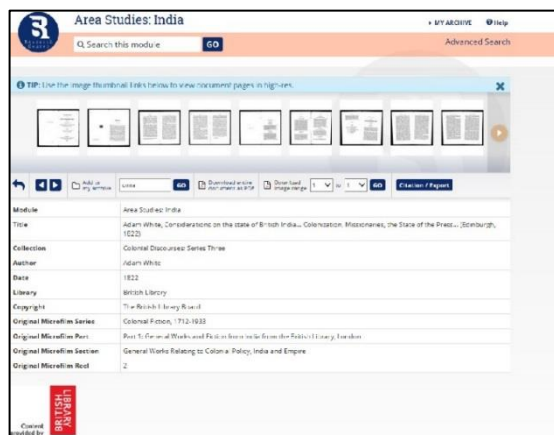
詳細検索画面：
購入モジュール全点を横断検索



資料の書誌情報表示画面

資料文面表示画面

*検索ワードはハイライトされます



Research Source (リサーチ・ソース)

◆2018 年刊行済み

Area Studies: India (インド研究コレクション)

Area Studies: Japan (日本研究コレクション)

Area Studies: China and Southeast Asia (中国・東南アジア地域研究コレクション)

Church Missionary Society Archive (英国聖公会コレクション)

◆2019 年刊行済み

Empire Studies (大英帝国史研究)

Literary Studies (文学研究コレクション)

Medieval and Early Modern Studies (英国中世・近世史資料集成研究)

Missionary Studies (世界各国宣教資料コレクション)

◆2020 年以降刊行予定

Business, Economics and Labor History 等

(Adam Matthew, GBR/日本総代理店：丸善雄松堂)